

能美市 血管ドック・がんドック・脳ドック ご案内

目 的

自覚症状のない病気を早期に発見し、早期に治療を行うことと、検査結果により生活習慣を見直し、病気の発症を予防します。

対 象

能美市に住所があり、人間ドックの助成制度を受けられない
社会保険などの被保険者、組合員または被扶養者
※市税等に滞納がある方は、助成を受けられない場合があります。
(「能美市納税等にかかる公平性の確保に関する条例」における制限措置の
実施対象事業となっています。)

コース

血管ドックコース、がんドックコース、脳ドックコース
コースを組み合わせることもできます。

※対象年齢は年度末日（3月31日）を基準とします。

コース	対 象 年 齢	目 的	注 意 事 項
血管ドック コース		心臓病や脳卒中、糖尿病、腎臓病などの生活習慣病の発症・重症化予防	年度内に市が実施する特定健診または血管ドック、どちらかの助成となります。
がんドック コース※1	40歳・45歳 50歳・55歳 60歳・65歳 70歳 ※該当年齢の方のみ	呼吸器、消化器、肝臓、前立腺、などがんの早期発見	年度内に市が実施するがん検診とがんドック、どちらかの助成となります。 ※1 乳がん、子宮頸がんに関する検査は含まれません。 能美市のがん検診等を利用してください。
脳ドック コース	50歳・55歳 60歳・65歳 70歳 ※該当年齢の方のみ	脳卒中や認知症の予防及び脳腫瘍などの早期発見	血縁者に脳卒中の既往がある方や高血圧、喫煙者、肥満の方は脳ドックをお勧めします。(脳クリップやペーサー-を装着している方は受けられません。)

★検査結果については、実施医療機関から市に情報提供されます。

★治療中の方は、病状の悪化を招くおそれがある検査については受けられないことがあります。
受診について主治医とご相談ください。

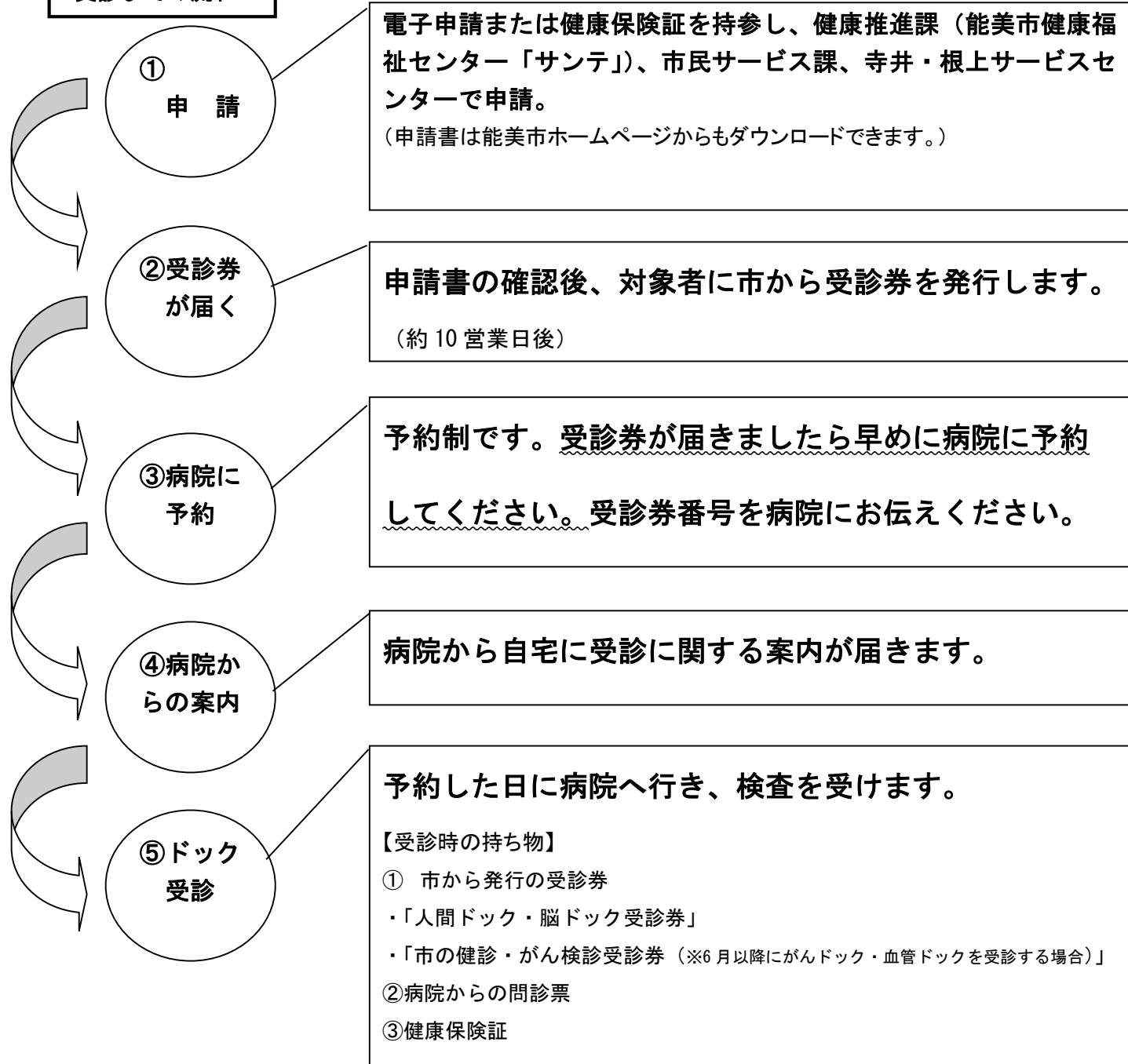
★糖尿病治療中の方は、かけはしチェック（能美市医師会糖尿病合併症検査・食事指導・療養指導）のご利用をお勧めします。自己負担額について市の助成制度があります。

★血管ドック・がんドックコースについては、市および職場の健診で重複する内容を受診した場合は受けられませんのでご注意下さい。

★発熱・風邪症状のある方は、ドック受診前に医療機関へ事前にお問い合わせください。

【お問い合わせ】 能美市健康福祉部健康推進課 住所:寺井町ぬ48 ☎:58-2235 FAX:58-6897

受診までの流れ



実施医療機関

能美市立病院

能美市大浜町ノ 8 5

☎ 5 5 - 2 3 1 0

（健診センター）

寺井病院

能美市寺井町ウ 8 4

☎ 5 8 - 5 5 0 0

※脳ドックは城北病院（金沢市）

◆送迎バスあり

芳珠記念病院

能美市緑が丘 1 1 - 7 1

☎ 5 1 - 5 5 5 3

（健診センター）

コース	項 目	内 容
血管ドック	問診	既往歴、自覚症状など
	身体測定	身長、体重、BMI、腹囲測定
	循環器	血圧測定、安静時心電図検査、眼底検査
	血液検査	総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL、GOT、GPT、 γ GTP、クレアチニン、尿酸、赤血球、血色素など
	糖尿病	HbA1c、インスリン検査、75g糖負荷検査※1
	検 尿	尿糖、尿蛋白、尿潜血、微量アルブミン尿
	血管の状態	頸動脈エコー検査、ABI（足関節上腕血圧比）
	事後指導	診察、検査結果説明、健康相談
がんドック	問 診	既往歴、自覚症状など
	呼吸器	肺CTまたは胸部X-P検査：裏面の説明をご覧ください。 （50歳以上の方はどちらかを選択。50歳未満の方は胸部X-P検査となります。）、喀痰細胞診※1
	消化器	食道・胃・十二指腸内視鏡検査・便潜血反応検査
	形態学検査	腹部超音波検査（肝・胆管・胆嚢・膵・脾・腎）
	前立腺がん	PSA（50歳以上男性）
	肝炎ウイルス	HBs抗原、HCV抗体※1
	事後指導	検査結果説明、健康相談
脳ドック	問 診	既往歴、自覚症状
	脳検査	脳MRI、脳MRA、頸動脈エコー
	高次機能検査	かなひろいテスト
	事後指導	検査結果説明、健康相談

※1 検査の対象とならない場合があります。

費 用

	血管ドック	がんドック		脳ドック
		肺CT検査	胸部X-P検査	
自己負担	17,600円	22,400円	19,200円	19,200円

※血管ドックとがんドックを併用される場合は、1泊2日ドックになります。

肺CT検査について

【受診者の利益】

CT検査は、胸部X線検査と比べ細かな断面で肺をみることができるため、小さい肺がんを見落とす可能性が少ない検査です。治療後の生活の質の向上が期待できます。

【受診者の不利益】

がんではない異常を「肺がんの疑い」とする場合や、生命を脅かすことのない進行の遅い肺がんを発見する場合もあります。

【放射線量と被爆】

日常生活上に浴びる放射線被爆量(年間)・・・0.46mSv(ミリシーベルト)

胸部X線・・・0.06～0.2mSv 胃透視・・・4～8mSv

胸部CT(通常)・・・8～12mSv 胸部CT(低線量 検診時)1.5～2.0mSv

(参考)人体が白血病やがんになると言われている放射線量・・・一度に1000mSv

【推奨される対象者および受診間隔】～CT検診ガイドラインより～

- ・50歳以上で、喫煙指数(1日の喫煙本数×喫煙年数)が600を超える人・・・1年に1回
- ・50歳以上の人・・・3～5年に1回 ※50歳未満でのCT検診は推奨されていません。

【お願い】

受診者の不利益と、検査結果の活用につきましては、検査前に同意書に署名をいただいておりますので、ご了承ください。個人情報については守秘義務を遵守いたします。

50歳以上の方は、肺CT検査または胸部X線検査のどちらかを選択し、病院への予約時に申し出て下さい。

脳ドックについて

【推奨される対象者】～脳ドックガイドラインより～

血縁者に脳卒中の既往がある方や高血圧、肥満、喫煙などの危険因子があるハイリスク者の受診が勧められます。